図書館だより10月号

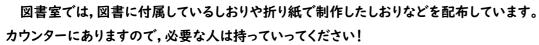
北島中学校図書館

10月になり、すこしずつ秋らしくなってきましたね。10月27日~11月9日は、秋の読書週間です。

今年の標語は『私のペースでしおりは進む』です。

読書にかかせない存在が「しおり」です!「しおり」の移動,時間,使用頻度は人によって それぞれだと思います。なかなかページが進まないときもあるかもしれませんが,焦らずに 自分のペースで楽しんでいきましょう!

最近はしおりもたくさんの種類があり、マグネットで本のページをはさむものや読み飛ばしを防ぐ工夫をしたものなど、さまざまなしおりがあります。読書だけでなく、勉強にも使えそうですね!自作しおりを持っている人も増えてきたように感じます。お気に入りのしおりがあれば、読書も勉強もはかどりそうですね。





10月の貸出・返却について

3日、5日は、会議がありますので、貸出・返却ありません。

| 16日|は、中間テスト前日なので、貸出はありません。返却はできます。

秋の読書推進キャンペーンのお知らせ

読書の秋ということで、<u>読書スタンプカードキャンペーンを実施します!</u>図書館教育ニュースのダウンロード素材を用いて制作した、秋にぴったりなコスモスやハロウィーンのしおりを I 枚プレゼントする企画です。

10月4日~11月10日の期間中に6つスタンプを集めると、しおり1枚をプレゼントします!右の画像がスタンプカードの中身になります。図書室のカウンターに置いてありますので、ご利用ください!ぜひ、この機会に図書室を利用してみましょう!











貸出手続き1冊につきスタンプ1つ押印

・延長手続きの場合は、押印しない

*図書館開館時間 放課後~

*借りられる本の冊数 3冊

*借りられる期間 2週間



図書委員と先生が選んだおすすめの本紹介!!

文化祭に合わせて「図書委員と先生のおすすめの本紹介」を実施しました。その中から図書委員の作品の一部を紹介させていただきます!

「バムとケロ」シリーズ 島田ゆか

主に、バムとケロの2人が空を飛んだり、買い物に行ったり、2人の日常の物語です。主人公のバムとケロ以外にも小さいキャラクターが本のはしなどに出てくるので、探してみてください!とても絵がかわいいので、1 冊読んだら他のも読みたくなるはずです!!

不可能を可能にする大谷翔平の120の思考 大谷翔平

おすすめの言葉は「自分がどこまで出来るかということに関しては制限はいりません」という言葉です。 なぜかというと、自分はここまでしか無理と思っているときにこの言葉に出会って、どこまでも努力したら いけるという考えに変わることができたからです。

ヘンな科学 五十嵐杏南

自分たちがふだん食べているもの、見ているもの。例えば、バナナとか楽器とか。『バナナの皮をふむと どうしてすべるのか』『いびきを改善する楽器』このような話が、この本一冊にギュッとつまっています。

「みてみたい」「気になるな」と思った方は、ぜひ一度、この本を読んでみてください!

「ぼくらの」シリーズ 宗田治

このシリーズは毎回毎回新しいストーリーがあります。外国へ行ったり,なぜかマフィア と戦うことになったり,とても楽しい内容です。学校の図書室にもあるので,ぜひ読んでみ てください。

いいね! 筒井ともみ ヨシタケシンスケ

自分もいやなことでもこの本を読むと、少し見方が変わります。私も、この本を読んで、苦手なことにも 少しチャレンジすることを意識するようにしました!小説のような長い文章が苦手なあなたに、ぴったり! 北中の図書室にも、おいてあるので、ぜひ今から探しに行ってみてください。

100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集 福井県立図書館

僕はこの本に出会ったのは、大きなテストが終わった後でした。そのため、少し疲れていたのですが、この本を読んでみるとおもしろくて、とてもリラックスできました。クスッと 笑えます。

ざんねんな歴史人物 真山知幸

社会のお手本とされるべき「偉人」には、実は落ちこぼれだったり、欠点だらけだったりする歴史人物もいました。この本はその歴史人物たちの実に人間らしい、そして、愛すべき一面にクローズアップした一冊です。

他にも,たくさんの本の紹介をしてもらいました。図書委員さんをはじめ,先生方ご協力ありがとうございました!

読書の秋は、まだはじまったばかりです。図書室や図書館、本屋さんに 行ってみると新しい本との出会いがあるかもしれませんよ。

また、電子書籍で色んな本を試し読みして、自分の好きな本をじっくり 探してみるのも楽しいですよ。

ぜひこの機会にいろんな本に出会ってみてください!



文化祭中の展示風景の一部